

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第2区分
【発行日】平成16年11月18日(2004.11.18)

【公表番号】特表2000-507264(P2000-507264A)
【公表日】平成12年6月13日(2000.6.13)
【出願番号】特願平9-534372
【国際特許分類第7版】
A 6 1 K 51/00
【F I】
A 6 1 K 49/02 A

【手続補正書】
【提出日】平成16年1月6日(2004.1.6)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成 16 年 1 月 6 日

特 許 庁 長 官 殿



1 事件の表示

平成 9 年特許願第 534372 号

2 発明の名称

胃内容排出の測定

3 補正をする者

メリテク、ダイアグノスティクス

4 代理人

東京都千代田区丸の内 3 丁目 2 番 3 号
協和特許法律事務所内
[電話 東京 (3211)2321 大代表]

6428 弁理士 佐藤 一 雄



5 補正命令の日付

発送日 平成 年 月 日

6 補正により する請求項の数

7 補正対象書類名 請求の範囲

8 補正対象項目名 請求の範囲

9 補正の内容

請求の範囲を別紙の通りに補正する。



方 式 査 査



請 求 の 範 囲

1. 炭素のアイソトープで標識化した食用光合成藻類を含有するビスケットを調製し、前記ビスケットを患者に摂取させて、ビスケット中の炭素標識化栄養分が小腸に吸収されかつ標識化 CO_2 に酸化されるようにし、そして定期的な間隔を置いて患者から採取した呼吸試料中の前記 CO_2 のレベルを検出して胃内容排出速度を決定する工程からなることを特徴とする、胃内容排出時間を測定する方法。
2. 前記藻類が、 $^{13}\text{CO}_2$ （ここでNは数13および14の1つである）の雰囲気中で生長したスピルリナ・プラテンシス(*Spirulina platensis*)である、請求項1に記載の方法。
3. 前記ビスケットを特異的に標識化された ^{13}C 炭水化物、タンパク質、および脂肪を含有するドウの処方物から作られ、ここでNは数13および14の1つである、請求項2に記載の方法。
4. 摂取前に、脂肪を含有するスプレッドとともにビスケットが提供される、請求項3に記載の方法。
5. 酸化されたとき、患者の呼吸の $^{13}\text{CO}_2$ 含量の検出可能な上昇を生ずるように、ベーキング前に $^{13}\text{CO}_2$ （ここでNは数13および14の1つである）が高い雰囲気中の生長させた光合成の単細胞生物を添加したビスケットを含んでなる、胃内容排出試験と組合わせて患者が摂取するために適合した食品。
6. 生物が食用藻類である、請求項5に記載の食品。
7. 前記藻類がスピルリナ・プラテンシス(*Spirulina Platensis*)である、請求項6に記載の食品。
8. 前記ビスケットが約150のカロリー値を与えるように均一に標識化された炭水化物、タンパク質および脂肪を含有する、請求項7に記載の食品。
9. 摂取前に前記ビスケット上に配置された脂肪を含有するスプレッドをさらに含む、請求項8に記載の食品。